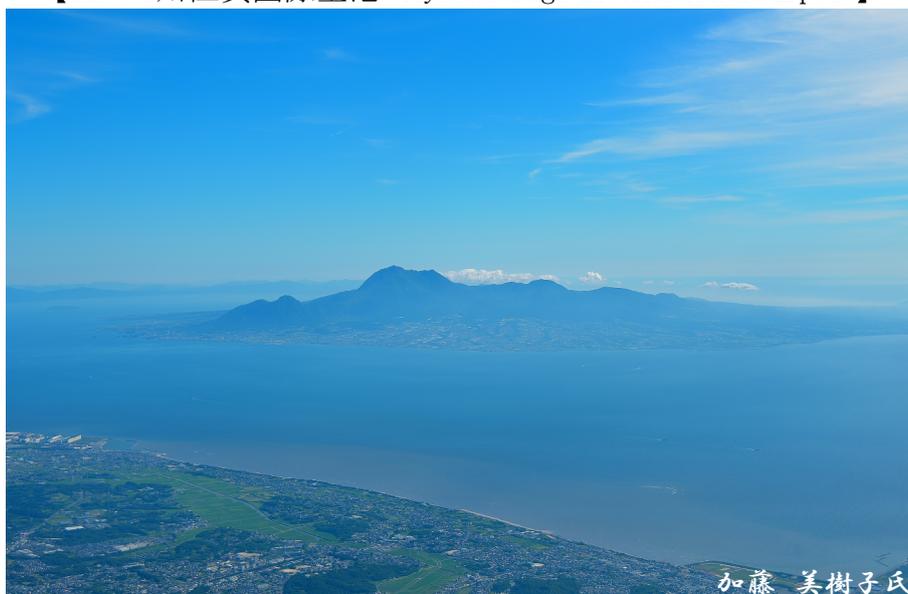


【12 九州佐賀国際空港 Kyushu Saga International Airport】



空港着陸前、大牟田市上空から

九州佐賀国際空港に着陸前／離陸後の航空機からは、晴れていれば有明海越しに“[北東面～北面の雲仙岳](#)”が眺望できます。

本空港就航便の多くは、[雲仙岳](#)の上空付近を航行するため、[雲仙岳](#)の航空写真が撮影可能で、[雲仙岳](#)と天草諸島が一望できる際には、雲仙天草国立公園のテーマである“[水陸の大展望](#)”を空から体感することができます(↑)。また、航路によっては[阿蘇山](#)を眺めることができ、[阿蘇山](#)と[雲仙岳](#)の間の歴史的な[大三角形](#)(※阿蘇地域のページ参照)を視覚的にイメージすることが可能です。阿蘇と島原半島はユネスコ世界ジオパークに、天草は日本ジオパークに認定されていますが、上空から眺めるとエリア全体の地形が一目瞭然で、大地の活動を想像することができます。

本空港の施設周辺からは、南に[雲仙岳](#)が眺望できます。本空港の周囲に広がる有明海の干潟には、ムツゴロウやシオマネキが多く生息し、豊富な餌生物を求めて毎年海外から多くの水鳥が飛来することから、平成 27 年 6 月にラムサール条約湿地(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地)に登録されました(東よか干潟)。空港の北西側には“干潟よか公園”があり、干潟の生物が観察できるとともに、秋には塩生植物のシチメンソウの紅葉が見られるなど、[雲仙岳](#)を背景に様々なシーンを撮影することができます(↓)。

この全国一の規模を誇る有明海の干潟の泥は、かつての[阿蘇山](#)の大噴火による噴出物を筑後川や嘉瀬川などが日々流し込んでいるもので、その泥が外洋に流れ出さないのは、[雲仙岳](#)そびえる島原半島が有明海の水の出入口を狭めているためです。

[雲仙岳](#)の様々な表情を探しながら、九州佐賀国際空港就航便で旅してみませんか？

●九州佐賀国際空港就航便の情報はこちら ⇒ 佐賀ターミナルビル株式会社 <http://saga-ab.jp/>



空港東のコスモス園から

空港西の田んぼから

空港北西の干潟よか公園から

藤松 政晴氏(左中右)